

令和2年度 府立丹後緑風高等学校（網野学舎） 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 丹後緑風高校のコンセプト「夢と人・学舎・地域・世界を結び、ものごとの本質を究め、新たな価値を創りだす」人材を育成する。</p> <p>2 教育目標、教育方針（育成する力）、育てる生徒像を教育活動の中に明確に位置付け、その具現化を図る。</p> <p>3 生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の精神にのっとり、将来に対する夢や目標を持たせ希望進路の実現に向けて挑戦する姿勢を大切にする。</p> <p>4 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。</p>		<p>1 久美浜高校・久美浜学舎との緊密な連携を図り、遠隔教育システムの活用、農商連携、合同部活動に向けた準備等、学舎制の体制整備を進める。</p> <p>2 産官学連携による地域創生教育を推進し、地域の将来を担う人材を育成する。</p> <p>3 オリンピック・パラリンピック教育推進校として、スポーツを通して共生社会を目指す教育を一層推進する。</p> <p>4 広報活動の充実を図り、本校の特色・魅力を発信し、積極的な生徒募集を進め、本校を第一志望とする生徒の増加を図る。</p> <p>5 ICT活用やアクティブ・ラーニングによる授業改善や総合的な探究の時間における探究活動の充実を図り、主体的に学ぶ生徒の育成を図る。</p> <p>6 学校行事・部活動・ボランティア活動等をとおして主体的に考え、行動する生徒の育成を図る。</p> <p>7 いじめには組織的に対応し、予防や早期発見・解消に努める。また、情報モラル教育の徹底を図る。</p> <p>8 3年間を見通した系統的な進路指導により、進路意識の向上を図るとともに、希望進路実現のための基礎・基本の徹底と実践力の養成を図る。</p> <p>9 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を踏まえ、コンプライアンス意識の向上や新学習指導要領への対応等、ステージに応じた教職員の資質能力の向上を図る。</p> <p>10 教職員の働き方改革を進めるために、教職員の意識改革と業務改善を一層推進する。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
特色化事業	・広報活動の充実と生徒募集の拡大	・広報紙とホームページにより本校の教育活動の特色・魅力を広く発信する。 [ホームページの更新回数週5回]		
	・地域創生の取組とオリンピック・パラリンピック教育の推進	・地域と連携した活動に主体的に取り組むとともに、地域の魅力や課題に気づき、その発信や課題解決に取り組む。 [TACの取組年間6回以上]		
		・パラリンピック種目をはじめとしたアダプテッドスポーツ等の理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが共に楽しめるポッチャを体験する。 [生徒のポッチャ体験者の割合100%]		
組織・運営	・学舎制の実施にともなう体制確立	・学舎制に実施にともなう体制の確立を図るとともに、久美浜高校・久美浜学舎と連携した取組を計画・実施する。 [学舎間連携の取組年間7回以上]		
	・教職員の資質能力の向上	・本校の教育課題への対応と教職員のステージに応じた能力向上のための研修の充実を図る。 [センター研修の受講延べ数30回以上]		
	・教職員の意識改革と業務改善による働き方改革の推進	・業務改善アンケート等を実施し、業務の見直し効率化を進めるとともに、19時30分までの退勤を目標とする。 [19時30分退勤率90%以上]		
学習指導	・生徒の主体的な学びの支援	・アクティブ・ラーニングを推進し、生徒の主体的な学びを深めさせる。 [授業評価アンケートでA・Lの視点を取り入れた主体的な学びが工夫されているによくあてはまると回答した生徒の割合75%]		
	・効果的な授業に向けた取組の推進	・ICT機器や遠隔教育システムの積極的な活用を推進する。 [ICT機器及び遠隔教育システムを活用した教員の割合90%]		
生徒指導	・生活や態度を調整できる力の育成	・社会人としての「あいさつ、身だしなみ、礼儀		

		<ul style="list-style-type: none"> ・マナー、5分前行動」等の指導を全教職員で行う。 ・自分の身は自分で守る、危険回避の行動がとれる力をつけさせる。情報モラルに関する講演会・交通安全の取組を実施する。 [交通事故・遅刻ゼロ] 			
	・心と体を調整できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率を維持しながら、体力や感性を育成する。 ・生徒会活動（専門委員会）活動の見直し。 [部活動加入率80%以上] 			
	・人間関係を調整できる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見逃さず、早期に対応するために、生徒の情報を教員で共有する。 ・地域貢献・キャリア教育につながるボランティア活動に積極的に参加させる。 [ボランティア活動の年間参加延べ人数1,000人以上（網野高校との合計）] 			
進路指導	・主体的なキャリア意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者に対して大学入試改革等に関する最新の情報を提供する。 ・進路選択、職業選択が主体的にイメージできるよう各種進路行事の実施と担任、チューター、進路指導部員等によるきめ細かな面談を実施する。 [進路希望未決定者人数1年次生10人未満] 			
保健・安全教	・健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止の対策と指導の徹底を図る。 ・外部機関と連携した講演会を実施する。 ・生徒保健委員会による健康啓発活動に取り組む。 ・SCを活用した教育相談を積極的に取り組む。 [講演会2回、保健委員会の活動2回] 			
	・安全意識の向上と危機対応能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施する。 ・自転車安全推進員講習会の実施と推進員による安全啓発活動に取り組む。 ・体育・部活動における怪我予防に取り組む。 [防災訓練2回、自転車安全推進員講習会1回] 			
人権教育	・生徒の人権意識の高揚と人権問題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習や日々の様々な活動を通じ、人権問題 			

の解決に向けた具体的な行動の促進	を正しく理解させる。 [人権に関するホームルーム各学年2回以上実施]				
・教職員の認識の深化と指導力向上	・新たな差別解消法制定等の状況を踏まえた校内 教職員研修を1回以上実施する。 [研修実施回数]				